

地域と大学の連携・協同による 子ども・子育て支援者の課題解決

一尼崎市における子ども・子育て支援の実態を踏まえて―

研究代表者 影浦 紀子(人間教育学部 児童教育学科 講師)

共同研究者

新井香奈子(人間健康学部人間看護学科教授) 緑(人間健康学部人間看護学科教授)

晴美(人間健康学部人間看護学科教授) 東 政美(人間健康学部総合健康学科教授) 藤澤

江嵜 和子(人間健康学部総合健康学科教授) 原田 旬哉(人間教育学部 児童教育学科 准教授)

東本 幸代(人間健康学部人間看護学科助教)

黒岩 志紀 (人間健康学部 人間看護学科 助手) 連携協力者

大前 仁哉 (尼崎市 こども青少年局こども政策課 係長)

内田扶喜子 (尼崎市 こども青少年局こども政策課 子育てコミュニティワーカー)

有本 早希 (尼崎市 市民協同局園田地域振興センター)

鹿子木加津美 (尼崎市 市民協同局園田地域振興センター 主事)

竹元 惠子(四条畷学園大学看護学部准教授)

今年度は、まず、研究会において、 これまでのイベントや実践から明らか になったさまざまなニーズを整理し、 研究の柱を二つに絞った。一つは、園 田地区子育て支援ひろば「ママカフェー における母親理解と子育で支援の実態 と課題について研究である。もう一つ は、父親の子育てにおける役割と支援 に関する研究である。

子育て支援ひろば「ママカフェ」は、 園田支所で毎月、開催されている。オー プンから2年目に入り、今年度から毎 回のママカフェに地域の資源を活用し たイベントが行われている。具体的に は、カフェが開かれている13:00~ 16:00 中の14:30 から30 分程度、

絵本の読み聞かせやお手玉、防災、人 形劇などの実演、講演されている。内 容の充実と同時に利用者も少しずつ増 加している。また、「ママカフェ」の 成果と課題を検討するために、支援 者、ボランティア参加学生を対象にイ ンタビュー調査を行った。利用してい る母親に対しては、「ママカフェ座談 会 | を開き、「ママカフェ | や子育て についての声を聴きとった。インタ ビューも座談会も聴きとったデータ は、KI法を用いた質的分析を行って いる。

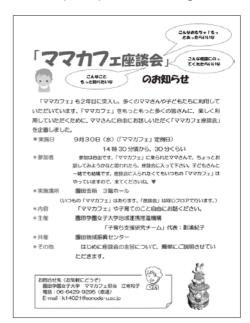
実践的には、地域で子育て支援や子 育てで役立つ教材の作成、また教材の 活用について実演、講義を行った。具 体的には、尼崎市中央公民館における 家庭・地域教育推進事業のファミリー サポータ育成講座では、支援者に対す る教材の作成と実演を行った。また、 尼崎市社会福祉協議会主催のおやこ育 ち講座では、お母さんが子どもに贈る クリスマスプレゼントとして教材作成 を行った。また園田地区のウェルカム パーティー事業「そのっ子フェスティ バル」では、学生たちによる人形劇が 行われた。

年度末には、立花地区の子育でサークル交流会を中心とした親子対象の「子育でフェスティバル」を開催予定である。これは、親子と学生とが触れ合いながら、母親は、子育でに役立つ情報、知識、技術を身につけ、学生は子どもや保護者への対応を体験的に学ぶことを目的としている。

今後の課題として、今年度の二つ目の柱、父親への支援が進んでいない状況である。研究会では、父親の子育て参加は進んできているが、特に子どもが乳幼児期の場合、子育てにおいて中心的な役割を果たすことは難しいという状況もある。今後、もっと子育てを乳幼児期に限らず長いスパンで考えて、母親や支援者の支援プログラム開発や実践をさらに深化させつつ、父親への子育てにおける役割や支援の在り方についても検討を進めていきたい。



そのっ子フェスティバル: 手遊び「あんたがたどこさ」



ママカフェ座談会のチラシ



「ママカフェ」における人形劇